



平成 29 年 3 月 24 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 U M N フ ァ ー マ
代 表 者 名 代 表 取 締 役 会 長 兼 社 長 平 野 達 義
(コード番号：4585 東証マザーズ)
問 合 せ 先 取 締 役 財 務 部 長 橋 本 裕 之
電 話 0 4 5 - 5 9 5 - 9 8 4 0

営業外収益の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社が過去に受領していたUMN-0501（組換えインフルエンザHAワクチン（H5N1）、以下、「UMN-0501」といいます。）を対象とする希少疾病用医薬品等試験研究助成金に関し、UMN-0501の希少疾病用医薬品の指定取り消しが了承されたため、平成29年12月期第1四半期において、当該助成金を助成金収入として営業外収益に計上することといたしました。従いまして、平成29年2月14日に公表した平成29年12月期（平成29年1月1日～平成29年12月31日）の通期業績予想を、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

1. 営業外収益（助成金収入）の内容

営業外収益につきまして、アステラス製薬株式会社と共同で開発していたUMN-0501（組換えインフルエンザHAワクチン（H5N1）、以下、「UMN-0501」といいます。）に関し、アステラス製薬株式会社が開発を中止したことから、アステラス製薬株式会社より厚生労働省に対して希少疾病用医薬品試験研究中止届書を提出、今般、希少疾病用医薬品指定の取り消しが了承されました。平成20年度から平成22年度にかけて、当社が、独立行政法人 医薬基盤研究所（現 国立研究開発法人 医薬基盤・健康栄養研究所）より、UMN-0501の研究開発に関連して受領していた希少疾病用医薬品等試験研究助成金336百万円に関し、当該助成金交付契約書にて、将来において製造販売承認を取得し売上を計上した場合、毎年の売上に対し一定の率をもって受領した助成金を上限として納付を要することとなっていたため、当該助成金を固定負債の長期預り金として計上しておりました。今般、UMN-0501開発中止を理由とする希少疾病用医薬品指定取り消しが了承されたことに伴い、交付契約書にて規定された将来における製造販売承認取得後の売上に係る納付の義務がなくなったことから、平成29年12月期第1四半期において、同額を長期預り金より振替え、助成金収入として営業外収益に計上するものであります。

2. 平成29年12月期 通期業績予想数値の修正（平成29年1月1日～平成29年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	153	△512	△504	△506	△41 57
今回修正予想（B）	153	△512	△167	△170	△13 96
増減額（B-A）	—	—	336	336	—
増減率（%）	—	—	—	—	—
（ご参考）前期実績 （平成28年12月期）	52	△552	△480	△8,344	△804 39

3. 業績予想の修正理由

「1. 営業外収益（助成金収入）の内容」に記載の通り、当社が過去に受領していたUMN-0501に関する希少疾病用医薬品等試験研究助成金 336 百万円に関し、固定負債の長期預り金に計上しておりましたが、UMN-0501 開発中止を理由とする希少疾病用医薬品指定の取り消しが了承されたことに伴い、交付契約書にて規定された将来における製造販売承認取得後の売上に係る納付の義務がなくなったことから、平成 29 年 12 月期第 1 四半期において、長期預り金より振替え、助成金収入として営業外収益に計上することといたしました。結果、経常損失及び当期純損失が前回予想と比べ縮小する見込みであります。

(注) 上記業績予想数値につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて作成しており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

以上